

### 「西迫峠の辻」 (西迫町)

西迫町は蒲郡市の西の玄関と言われ、古代から文化の流入口となっていました。地理的なことから想像するに、中世までは幸田町の深溝地区と一体となって発展したように思います。



現在の景色

この西迫峠の付近では、古代の古墳が多数発掘されています。市内で唯一となる奈良・平安時代の遺物(製塩・漁労)が残る月田遺跡や、鎌倉時代初期創建の西福寺もこの近くにあります。

しかし、中世からの海退現象で海側が広く陸地化し、集落の中心はその平地に移っていきます。現在、この辺りの丘陵はイチゴやつま菊などの温室栽培が盛んで、早春には菜の花の美しい名所にもなっています。

この絵は、自然に形成された峠の五差路の地形と人家の構成が面白かったので描きました。右へ登る道と平行して倉庫と人家の間にも右に登る道が隠れています。正面からの道は大学の裏側から馬場跡を経て幸田町に至る道です。



樹木医・技術士(建設部門) 原野 幹 義

### 「かわいいレモンのおしり・ハクモクレン」

三寒四温と言われ、気候が目まぐるしく変わるこの季節に、純白の大きな花を枝一杯に輝かせるハクモクレン。春ですね。ビロードのような花びらは繊細で、風の強いこの季節は少しかわいそうです。同じ仲間のコブシは花の下に、明るい緑の一葉が開き愛らしい。モクレンの仲間の葉っぱはレモンのおしりのように先端がふくらんでいて、それがとてもチャーミングです。花が終わってからのお楽しみに。

若かりしころ欧州を旅して、春の公園に咲き競うモクレンなどの大きな花木の種類の多さと、その豪華さに目を奪われました。日本では葉が開く前に樹全体が花で覆われる花木は多くはありませんから。花見といえば吉野の桜と言われ、コブシのように花と葉が同時に開く山桜が主体だったものから、江戸時代末期に染井村の植木屋が品種改良したソメイヨシノが一躍人気となり現在まで愛されているのも、一面花に埋め尽くされるその華やかさが大きいかと思えます。

「風と共に去りぬ」の情熱の女性スカーレット・オハラが愛した、アメリカ南部の白い花マグノリアが、ハクモクレンであることを知ったのはずっと後のことでした。

## 目次 Contents

市長マニフェスト(公約)の実現に向けて	3
国民健康保険証が新しくなります	4-5
学校体育施設を開放します	6
スポーツ少年団の団員募集	7
MYスクール・図書館だより	8
まちの達人・読む水族館	9
遊びにおいでよ児童館へ	10
健康カレンダー	11
いちおし逸品	12
市民相談	13
お知らせ	14-23
クイズまちがいさがし・編集後記	24
ふれあい宅配便	25
生命の海科学館名誉館長講演会	26
こどもミュージアム	26

